



重点分野2 (中目標)	チャド湖周辺及びサヘル地域の平和と安定														
開発課題2-1 (小目標)  チャド湖周辺及びサヘル地域における平和と安定の促進	【現状と課題】 チャドは1960年の独立後、内乱や近隣国との紛争の影響を受け、長年にわたり不安定な情勢が続いたため、国家開発が停滞した。2010年にスーダンのと和平合意が成立したことにより、治安情勢の安定化の兆しを見せたが、2014年以降のチャド湖周辺地域における暴力的過激派組織やテロ組織の活動の活発化を受け、多くの難民・国内避難民等が発生した。また、これまでの難民の受け入れに加え、2023年4月に発生したスーダンにおける国内紛争により、チャド東部には多数の難民・帰還民が流入しており、大規模な人道危機が生じている。					【開発課題への対応方針】 チャド湖周辺地域及びサヘル地域の情勢が不安定化する中、チャドを含む地域全体の脆弱性の克服は喫緊の課題である。近隣国からの難民受け入れによって負担が増えているホストコミュニティへの支援や治安対策能力強化に資する協力を検討していく。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
	人道危機対処プログラム		国際機関とも連携の上、近隣国からの難民受け入れによって負担が増えているホストコミュニティへの支援や治安対策能力強化に資する協力を実施する。		経済社会開発計画	無償	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	3.00	16	テロ対策機材供与
					経済社会開発計画	無償							3.00	16	テロ対策機材供与
					予防接種のためのコールドチェーン整備計画	無償						1.35百万USD	3	UNICEF	
人道分野の無償資金協力					無償						20.4百万USD	3			

【凡例】 「協準」(=全ての協カ準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」」(=実施期間)、「破線「---」」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当欄略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)